



# 大事協だより



大島地区公立小・中学校  
事務職員協会 研修部  
第 65 号  
2019年6月27日発行

夏至が過ぎ、陽射しが徹しく感じられます。  
夏休みまでもう一息です。体調に気をつけて  
乗り切りましょう。

- \* 大事協は次のような意義のもと設立し、活動しています。
- \* ご確認をお願いします。

- ① 大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪(わ)＝会」を目標とする。
- ② 本会は、地区内の緩やかな繋がり・親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③ 大島地区内における情報交換の場とする。
- ④ 実務研修の充実を図る。

<会長あいさつ>  
面 縄 中学校 牧 武志

私たち事務職員を取り巻く環境が H29.3 学校教育法一部改正「事務をつかさどる」・H31.4 労働基準法の36協定など変容する中、時代は平成から令和へととなりました。

7日の地区事務研後の大事協総会で、無事今年度の役員が承認され、夜の交流会も会員 81/94 人の出席のもと盛会に催され、大変嬉しく思っております。交流会挨拶でも述べましたが、基本理念の緩やかに輪をもって繋がりながら、大事協が「大島地区事務職員による事務職員の為の事務職員協会」である為に、各市町村ブロック理事を経由した意見・質疑・要望等を県事協や事務所総務課へ繋ぐパイプ役として運営していくことを肝に銘じて、執行部一同頑張りたいと思います。宜しくをお願いします。

## <令和元年度 大事協 役員>

本年度の役員が総会で承認されました。

職 名	氏 名	勤 務 校
会 長	牧 武志	面 縄 中学校
副会長(総務)	吉 元 浩	神 之 嶺 小学校
副会長(研修)	新 地 茂子	名 瀬 中学校
書 記	笠 公 等	金 久 中学校
会 計	岩 川 理	大 勝 小学校
監 事	奄美市西部ブロックから選出	
監 事	奄美市笠利ブロックから選出	

☆県費事務改善検討委員会委員

森田 洋人(龍郷町立戸口小学校)  
どうぞよろしくをお願いします

平成30年度 副会長 牧野田先生、おつかれさまでした。



## <交流会会計報告> 会 計 岩 川 理

今年度も、第1回大島地区小・中学校事務職員研修会終了後、交流会が開催されました。その会計報告をいたします。多くの方の御参加、ありがとうございました。

(収入)参加費  
4,000円×86名+1,000円×1名=345,000円  
(会員81名、大事協補助1,000円×81名分)

(支出)料理・飲み物代(税込み)  
4,000円×86名+1,000円×1名=345,000円  
折中コース・飲み物 お子様ランチ

(収支)345,000円-345,000円=0円



## <各地区からお便り>

今回の原稿は、①奄美市西部ブロック、②宇検村からいただきました。また、新規採用の声も掲載しています。支援室だよりもいただきましたので、ぜひご覧ください。



## 名 瀬 西 部 地 区 事 務 支 援 室



名瀬西部地区事務支援室です。

本支援室は小学校5校、中学校3校、小中併設校1校あり、10名の事務職員で支援室を行っています。

2校目経験以上の中堅事務職員で構成された支援室となっております。

名瀬の屋仁川通りを校区に持つ、名瀬小、金久中、本市の中でも規模の大きな朝日小、朝日中など奄美の中では、諸手当の認定件数が多い支援室であると考えています。

平成30年度の支援室内、認定件数は238件でした。

支援室は基本的に月2回実施し、認定事務以外の活動として、年2回の物品共同購入、各回の自主検査補助、年3回の支援室だより発行を行っています。

物品共同購入については、備品に限らず支援室内の学校から希望があれば、消耗品についても見積もりを取得し、効果的な予算執行について考えております。

自主検査補助は、教育業務連絡指導手当、教員特殊業務手当を中心に確認を行っています。

支援室だよりは、多くの職員が興味をもつ情報を混ぜながら、知ってもらいたいことを記載するようにしております。支援室は、和気藹々とした雰囲気があり、業務の間には、近々に行った事務処理について改善点や効率化について、あれこれと冗談をいながら話し合っ、相互研鑽しております。

近く小宿地区にも自衛隊の宿舎ができることを聞いております。職員や子供たちが安心して学校生活を送れるように、事務をとおしてサポートしていきたいと考えております。



## 新規採用者の声



### 宇検村 立阿室小中学校 瀬戸西 紗季

新規採用として阿室小中学校に赴任してから1年が経ちました。長いようで短かった1年目でしたが、支援室の先生方をはじめ多くの方々のサポートのおかげで大きなミスもなく安心して仕事をすることができました。配置された当初、学校の為に頑張っていきたい気持ちと仕事内容を聞いても分からず不安になることもありましたが、支援室の際に分からないこと、疑問に思うことが解決できるようにと質問ができる時間を作って頂いたことで自分では解決できなかったことがクリアになっていきました。たくさんのアドバイスや手厚いサポートをしてくださった支援室の先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

学校では昼休みに子供達から遊ば〜！と声をかけられることが多くなり、追っかけ回され体力が持たないな…と思うこともあります。子供達と共に成長していけたらと思う毎日です。2年目になりましたが、1年目で学んだことを活かし、学校でも支援室でも戦力になれるように日々努力していきたいと思っています。今年もよろしくお願ひいたします。



## 宇検村学校事務支援室



宇検村は、奄美大島の南西部に位置し、奄美群島の最高峰である湯湾岳を有しています。天然の入江である焼内湾が村の中心となり、連邦山岳と集落が湾を囲みます。焼内湾と湯湾岳をはじめとする山岳によって温暖な気候と豊かな自然が保たれ、農産業、水産業、酒造、真珠やマグロの養殖が盛んです。平成29年11月1日に村制施行100周年を迎えました。村の活性化、子供支援の1つとして給食費の無料化に取り組んでいます。

宇検村学校事務支援室は、村内併設含め8校に4名の事務職員が配置されています。経験の浅い事務職員2名、中堅事務職員1名、事務主幹1名で構成されており、お互い情報交換し、協力しながら取り組んでいます。支援室は月2回実施し、認定事務が多い年度当初や総点検が必要となる年末調整等の時期は実施回数を増やしています。また、年2回各学校をまわって相互点検を行っています。支援室では、H30年度に旅行命令簿の様式を改定しました。今後の課題としてICT機器を活用した事務の効率化、村費事務マニュアルの一新など宇検村教育委員会と連携し改善を行いたいと思います。また、小規模校のため特殊事例は少ないですが、各学校で困っていることや疑問に思うことを解決するためにも支援室では毎回活発な協議と研修が行われています。今後も相談や意見交換が行える場として支援室を機能させ、学校現場によりよい教育環境を提供できるよう皆で力を合わせて頑張ります。



原稿を集約・編集してくださった大和村、原稿提出してくださった奄美市西部ブロック・宇検村ありがとうございました。66号は、編集担当が龍郷町・原稿担当が奄美市笠利ブロック、瀬戸内町となっています。よろしくお願ひします。

